

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2019.10.25 No.363 東京・羽村平和委員会発行



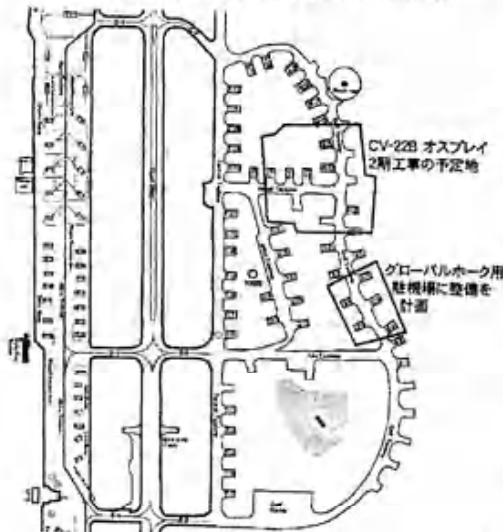
CV22オスプレイのための新施設建設計画 一部が中止

中止されたのは滑走路東側に予定していた2期工事のうち「航空機整備隊付き格納庫」「特殊作戦群司令部・飛行隊作戦施設・倉庫」建設の2事業です。

米軍が今月1日発表した契約情報によると、中止は米国防長官が9月3日に承認した、メキシコ国境の壁に予算を回すための軍事建設事業延期リストに基づくもの。「もはやこの業者募集には、支出できない」として、2事業について募集を中止し、関連の全計画案を却下したとしています。

(右のしんぶん赤旗を参照)

下の図は羽村平和委員会作成。



2019年10月21日(月曜日)

【社会・総合】

(12)

横田基地 オスプレイ新施設中止 予算、メキシコ国境の壁に

在日米軍横田基地(東京都多摩地域)に配備された米空軍特殊作戦機CV22オスプレイのための新施設建設計画が、トランプ政権が進めるメキシコ国境の壁建設に予算を回すために中止されたことが20日、わかりました。

中止されたのは、滑走路東側に予定していた2期工事のうち「航空機整備隊付き格納庫」「特殊作戦群司令部・飛行隊作戦施設・倉庫」建設の2事業です。米軍が今月1日発表した契約情報によると、中止は米国防長官が9月3日に承認した

西多摩の会「撤退へ運動」

認めた、壁建設に予算を回すための軍事建設事業延期リストに基づくもの。「もはやこの業者募集には、支出できない」として、2事業について募集を中止し、関連の全計画案を却下したとしています。

壁の建設に関連し米軍が中止する軍事建設事業は127事業36億(約3900億円)です。横田基地には昨年4月に5機のCV22が初飛来し、10月に正式配備されました。2024年ごろまでに5機が追加され、10機のCV22と人員約450人

10月20日は第127回横田座り込みに133人参加

10月22日のJR3駅の宣伝、署名行動 毎月続けています



米軍「思いやり予算」使い日本を監視拠点に

ジャーナリスト・社会学者 小笠原 みどり さん



小笠原みどりさん(左) 赤旗特報チーム

おがさわら・みどり 1970年、横浜生まれ。ジャーナリスト・社会学者。1994年に朝日新聞に入社し、神奈川米軍基地や監視法など監視社会問題について報道。2004年に遊社。カナダ・タインズ大学で監視研究により社会学博士号を取得。現在、オタワ大学特別研究員。

デジタル技術の発達で、国家権力による市民の監視強化という作用を世界中でもたらしています。とりわけ日本では、米軍への「思いやり予算」が米国の監視網強化に使われ、米軍基地が「対テロ戦争」の拠点になってきました。近著『スノーデン・ファイル徹底検証 日本はアメリカの世界監視システムにどう加担してきたか』(毎日新聞出版)で米諜報機関の中核であるNSA(米国家安全保障局)による監視実態を告発したジャーナリスト・社会学者の小笠原みどりさんに聞きました。(聞き手・系藤紀和)

NSA(米国家安全保障局)の中核である通信諜報本部(サイバー・内部証言)の内部証言「スノーデン・ファイル」が、米政府の監視網強化に使われ、米軍基地が「対テロ戦争」の拠点になってきました。近著『スノーデン・ファイル徹底検証 日本はアメリカの世界監視システムにどう加担してきたか』(毎日新聞出版)で米諜報機関の中核であるNSA(米国家安全保障局)による監視実態を告発したジャーナリスト・社会学者の小笠原みどりさんに聞きました。



防衛省情報本部・太刀洗通信所(福岡県筑前町)

スノーデン文書で浮き彫り 違法監視 規制の議論をいま

監視拠点は米軍の競争にどんな役割を果たしていますか。対テロ戦争はアンテナやドローンを駆使する戦術です。アンテナは米軍の行く先々に設置され、携帯電話やコンピュータのデータを読み上げ、標的の位置やコンピュターのデータを配給する工場が横田基地にあります。(SIRTOPPA 2014年7月21日付)は、二

監視網システム「エニグマ」計画の一端を担い、重要な情報源を確保する巨大アンテナを設置してききました。2008年12月11日のNSA文書には、建設されたばかりの通信所の位置を断片的に特定する「工画」と呼ばれるシステムが同年9月から使用されているとの記述があります。過去に公開したデータから推定された位置を軍的に予推し、位置情報を機能的にオンラインで現れてから数秒以内に提供すると誇っています。文書は「二層はすでにアフガニスタンのカブールやバクスターンなど特定の標的について結果を出している」といいます。「結果」を出さずに「情報・紛争」を意味しています。ホルとセンターは、現在米諜報機関の計画の中心人物が日本で監視・監視活動に携わっていると指摘しています。日本はなぜ世界レベルの「思いやり予算」の多額で監視補助を受けられるのかです。対テロ戦争に際するNSAへの支出は、憲法は第一重要政策に関する情報主義の土台が崩れてしま

小笠原みどり著 『スノーデンファイル 徹底検証』 読んでみませんか 10月21日付 しんぶん 赤旗